

## 文化財デジタル画像形成に関する調査研究 (①企05-11-1/5)

### 目 的

脆弱な材料で構成されている我が国の貴重な文化財を間近で精査・鑑賞する機会は限定されている。そこで文化財の高精細な画像や特殊撮影画像を公開し、多目的な利用に供することは、文化財への理解を深め、実物の保存と共に活用の道を開く有効な方法である。本調査研究では、着色仏画・彩色壁画・油彩画・日本画などを対象とし、文化財研究に資するデジタル画像の形成方法、および、その応用のための手法（表示・出力）を開発し、広範な活用の方向性を研究することを目的とする。

### 成 果

1. デジタルコンテンツの多目的利用の一環として、平成17年度に行った平等院との鳳凰堂仏後壁の共同研究成果『平等院鳳凰堂 仏後壁 光学調査報告書』に論文（以下、参照）を発表した。また、平成17年度に行った台湾・故宮博物院との共同研究成果を『李唐萬壑松風図光学検測報告』として刊行した。
2. 絵画作品の調査・撮影など
  - ① サントリー美術館所蔵「秦西王侯騎馬図屏風」(11.9.14,9.28,10.20-21,9.25)
  - ② 東京国立博物館所蔵「虚空蔵菩薩像」(11.10.5)
  - ③ 京都・佛光寺蔵「善信聖人親鸞伝絵」(12.2.22-24)
3. 他機関との共同調査
  - ① 宮内庁三の丸尚蔵館（「春日権現験記絵巻」の調査（11.12.13））
  - ② 奈良国立博物館（「信貴山縁起絵巻」の調査（11.11.8-11））
4. サントリー美術館蔵「秦西王侯騎馬図屏風」の調査研究の成果の公表（高精細デジタル撮影による画像公開）を、同美術館における展覧会（会期11.10.26～12.4）に合わせて行い、講演（城野誠治「秦西王侯騎馬図屏風との新しい出会い」11.11.5）を行った。

### 論文

- ・城野誠治「有関〈萬壑松風図〉光学探測方法的画像資訊化」『李唐萬壑松風図光学検測報告』 pp.103-109 東京文化財研究所 11.12
- ・城野誠治「科学写真撮影法の概要と結果」『平等院鳳凰堂 仏後壁 光学調査報告書』 pp.98-99 東京文化財研究所 12.3

### 研究組織

○津田徹英、田中淳、山梨絵美子、二神葉子、塩谷純、綿田稔、小林達朗、江村知子、皿井舞、城野誠治、鳥光美佳子（以上、企画情報部）、早川泰弘（保存修復科学センター）